

1 研究構想（令和5年度）

瑞穂市立本田小学校

学校の教育目標

みつけ たすけあい やりぬく子

【学校課題】

- 自分の思いを相手に進んで伝えようとすることができる。
- 仲間のよさを見つけることができる。
- 自分の思いを伝え、仲間と考えを深めるために議論する楽しさを実感している。
- △仲間の考え方から自分の考え方どう変化したかを考え、深める力が十分とは言えない。
- △今までやこれからの自分について、自己を見つめる力に弱さが見られる。

【めざす子どもの姿】

共に生きる喜びをつくりだす子

- 互いに考えを伝え合い、よりよい生き方を追求し実践できる子
- 自己を見つめ、主体的に判断し、行動できる子

研究主題

共に生きる喜びをつくりだす子の育成

～仲間と共に自己の生き方について「考え・議論する」道徳の時間の在り方～

研究の仮説

全教育活動を通じた道徳教育を基とし、道徳の時間において児童が主体的・対話的に考え、議論しながら、自己の生き方について考えを深め合うことができるよう、発達段階に応じた手立てを講ずることで、「共に生きる喜びをつくりだす子」を育成することができる。

研究の内容

1 「考え、議論する道徳」を実現するための指導過程の工夫

- ・児童の実態と思考の流れに即したねらいと展開について
- ・発達段階に応じた「考え、議論する」手立てについて

2 自分自身の変容を実感できる「確かな自己理解」の実現するための自己みづめの在り方

- ・自己の考え方の変容を表出する活動の工夫
- ・道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた意図的な指導・援助

道徳の時間

道徳的判断力 道徳的心情
道徳的実践意欲と態度

全教育活動を通じた道徳教育

豊かな心を
育む体験活動

共に生きる

家庭や地域社会

啓発 共通理解
協働

学年部	低学年部	中 学 年 部	高学年部	特別支援部
重点内容 項 目	A-（5）希望と勇気、努力と強い意志 B-（6）親切、思いやり C-（12）勤労、公共の精神 D-（17）生命の尊さ	A-（5）希望と勇気、努力と強い意志 B-（6）親切、思いやり C-（13）勤労、公共の精神 D-（18）生命の尊さ	A-（5）希望と勇気、努力と強い意志 B-（7）親切、思いやり C-（14）勤労、公共の精神 D-（19）生命の尊さ	A-（5）希望と勇気、努力と強い意志 B-（6）親切、思いやり C-（12）勤労、公共の精神 D-（17）生命の尊さ